

## 第 64 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会

### 教員審査員講評一覧

#### アナウンス部門

- ・情報量を詰め込みすぎな人がいました。早くても、伝える読み方ができている人もます。ポーズを取り過ぎな人は、意味を考えてまとまりを意識しましょう。
- ・力んでしまった人、固い人がいます。単調な読みの人はもっと工夫して表現してください。
- ・基礎ができていて、声の出る人も多かったです。
- ・校内の意外な話題をうまく取り入れていました。
- ・原稿の内容がバラエティに富んでいて、さすが高校はレベルが違うと感じました。校内から話題を選びながらも、その高校に通っていない人でも興味深く聞ける内容でした。切り口もユニークなものが多く、惹きつけられました。
- ・基礎基本がしっかりできている人が多かったです。声もよく出ています。「人に伝える」という意識を持って日々練習しているのだろうと思います。さらに精進してください。

#### 朗読部門

- ・マイクに声のがのっていない人が多かったです。Key の高さ一低く入りすぎているので、長文がメロメロになり恐ろしい読みになっています。
- ・地の文、会話文、感情なのか、情景を表すかわからない人が多かったです。掴みを大切に、第一文を大切にしましょう。
- ・ブレスの前後で流れが悪くなっています。ロングトーンの練習をもっと活かしてください。
- ・力入りすぎている人、暗く読んでいる人は語ることを意識しましょう。
- ・声が低くなる時、同時に小さくなってしまう人が多いです。最も聴かせられるところでもあります。大切にしてください。

#### ラジオドキュメント部門・研究発表部門

- ・題材が身近過ぎていて、アプローチに深みが出て来ないものもありました。
- ・録音の面でノイズがあったものがあったり、インタビュアーとインタビューされる側の音量バランスが著しく違っているものがありました。
- ・音声しか使えないので、情報をうまく伝えきれなかった作品もあったのではないのでしょうか。音声を有効活用する工夫が欲しいです。
- ・研究に値する発表のテーマなのかどうなのか検証して欲しい作品もありました。

#### テレビドキュメント部門

- ・カメラワーク、インタビュー時の画面の作り方、ライトの当て方、作品を見て自分がわかりやすいものになっているか等を注意すると良いと思いました。
- ・テレビ番組はカットわりが勝負だと思いますので、その辺りを意識してみると良いと思います。

#### 創作ラジオドラマ部門

- ・録音レベルの設定を丁寧にしましょう。ソフトをうまく利用して、録音レベル、再生レベルを揃えてください。
- ・権利処理一覧表などは最新の注意を持って記入してください。記入漏れ等をするとうそ行為となることもあるので気をつけてください。

#### 創作テレビドラマ部門

- ・カメラは三脚を使いましょう。映像ならではの演出を研究してください。
- ・着眼点はとても良いと思うので、録画・録音技術の向上に努めてください。
- ・レギュレーションミスが多かったです。赤本 31 ページでしっかりチェックしてください。
- ・「テーマをどう伝えるのか」脚本、テーマが一番大切なものですが、それを引き立てる演出や、BGM など裏方が重要です。それぞれの仕事をプロフェッショナルの意識でやる必要があります。プライドを持ってこだわってやってください。ポイントは、“無くてもいいもの”だけど“あった方がよいもの”だと思います。